

【栃木県から世界へ！ JICA 海外協力隊】

2023年度3次隊栃木県各自治体への表敬訪問

国際協力機構(JICA)は、2024年1月～2月に栃木県から3名のJICA海外協力隊員を2023年度3次隊として派遣いたします。隊員は、任国への出発を前に、下記のとおり栃木県知事、市長及び町長を表敬訪問いたします。つきましては、貴社媒体にて、栃木県出身のJICA海外協力隊を県民の皆様にご紹介いただけましたら幸いです。

1. 表敬訪問日程

(敬称略)

表敬先	日時・場所	表敬者
栃木県 知事 福田 富一	2024年1月18日(木) 14:00～14:15	同県 JICA 海外協力隊員 3名 具志 梨紗、齋藤 ゆき乃、 芦澤 和
矢板市 市長 齋藤 淳一郎	2024年1月15日(月) 13:30～14:00	具志 梨紗
塩谷町 町長 見形 和久	2024年1月15日(月) 11:00～11:30	齋藤 ゆき乃
小山市 市長 浅野 正富	2024年1月11日(木) 10:00～10:15	芦澤 和

2. JICA 海外協力隊 リスト

隊員区分	氏名	職種	国名	配属先
青年海外協力隊	具志 梨紗	コミュニティ開発	ベナン	ケトゥ福祉センター

【活動内容と抱負】
20代の頃 AIDS 孤児について知る機会があり、世界の子どものために何ができるか考えるようになりました。マンスリーサポーターとして寄付を始め、その機関紙で活動の情報を得るうちに海外ボランティアに興味を持ちました。その後、大学で国際看護論を学び、卒業後は市の子ども子育て相談センターにて貧困や虐待、DV等の問題を抱える人々の地域ネットワークを構築・支援し、市の母子保健分野の保健師として、母子の保健指導や育児指導を行って参りました。ベナンの福祉センターでも地域に根ざした支援体制を構築し、現地の人が主体的に問題を解決、改善できるよう支援したいと考えます。

青年海外協力隊	サイトウ ユキノ 斎藤 ゆき乃	理学療法士	パラグアイ	国家障害者人権庁 コロネル・オビエド 支部
【活動内容と抱負】 学生の頃に JICA の活動を知り、いつか参加したいと考えていました。医療系に進むか語学系か進路に迷った時期もありましたが、海外での活動に興味があったため理学療法士として JICA に参加することを決めました。理学療法士としては病院で 4 年半勤務し、経験は浅いですが現地の人と生活する中で共によりよい環境や技術を考えていけるようにしていきたいです。また、日本の考え方だけに拘らず柔軟な対応を心がけていきたいです。				
青年海外協力隊	フシザワ フタル 芦澤 和	PC インストラクタ —	ガーナ	アウドメ高等学校
【活動内容と抱負】 学生の時にインドで水処理の研究をしており、町の人々との交流の中で「仕事をしたくても仕事がない」と聞いたことをきっかけに国際協力に興味を持ち始めました。小学生の時に協力隊経験者の先生がいたことや、JICA つくばに見学に行ったことを思い出し、協力隊を志すようになりました。県内の IT 企業にてシステム開発に 2 年間携わったのち、応募を決意しました。ガーナでは高校で ICT 教員としてセキュリティ教育を行いつつ、Office ソフトウェア使用方法やプログラミングを教えます。自分のスキルを活用しながら現地コミュニティに溶け込めるよう精進していきます。				

3. JICA 海外協力隊とは

JICA 海外協力隊は、日本政府の ODA（政府開発援助）の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。「開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与」、「異文化社会における相互理解の深化と共生」、「ボランティア経験の社会還元」を目的としています。

日本国籍を持つ 20 歳～69 歳の方が対象となり、派遣期間は原則 2 年間。日本で培った知識や経験を活かし、開発途上国と国際協力の志を持った方々が、現地の人々とともに生活し、草の根レベルで開発途上国の抱える課題の改善・解決に貢献します。

詳細は、JICA 海外協力隊 Web サイトをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 栃木デスク 田島 繁樹 TEL : 028-621-0777 (栃木県国際交流協会内) E-mail : jicadpd-desk-tochigiken@jica.go.jp